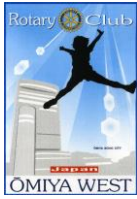


# ROTARY CLUB OF OMIYA WEST

Rotary



## 2022-23 年度 大宮西ロータリークラブ 週報

創 立：1963年 3月 22日

例会場：パレスホテル大宮

例会日：月曜日 12:30～13:30

会 長 小沢 孝

幹 事 榎本 貞寿

クラブ会報委員会 小岩 淳一

第2775例会

発行日

2023/05/08

2023/05/15



イマジン  
ロータリー

### 会長挨拶

会長 小沢 孝

皆さん、こんにちは。

5月8日(月)本日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けについて「季節性インフルエンザなどと同じ「5類感染症」へ移行することが正式決定となりました。これを踏まえ、以前のような生活が戻ってくるのでしょうか。

さて、ゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたか。私は、お客様のお庭空間で仕事をさせていただいておりました。私、小沢家のお庭は後回しの状況でしたのでこのゴールデンウィークを利用してメンテナンスをいたしました。あつという間に休日が終わってしまいました。

5月6日(土)には、顧客である盆栽町の歯医者さんのお庭のメンテナンスにお伺いし、1時間程の作業を行いました。「浜野歯科医院」、皆さんご存じの濱野パストガバナーのご自宅です。新築されたのをきっかけに息子様とのお付き合いが始まり今に至っております。

奥様は私の現状をご存じで「会長もあと2ヶ月ですね。お疲れ様ですね」と声を掛けられました。「今日、5月6日は、主人の誕生日なんですよ。生きていれば75歳です」とも。そうでしたか。「今もなお奥様の心の中で濱野パストガバナーは生きているんだな」と感じ、私の記憶もよみがえってまいりました。地区へ会員増強で出向したことなどが、作業をしながら回想されました。6月3日(土)は、大宮シティーRCの25周年記念式典です。今から楽しみです。

大宮西 RC も今年度は残り2ヶ月。創立に関わられた会員の思いや、最近まで活躍され皆様の心の中に生きているであろう会員さんの思いも、共に60周年の年度の残りの時間を楽しんでいけたら幸いです。本日はよろしく願いいたします。



### ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

荒井 理人 会員



### お客様紹介、米山記念奨学生紹介

- 公益財団法人埼玉県生態系保護協会 事務局長 前田 博之 様 (Zoomでご参加)
- 2023 学年度米山記念奨学生 金 亮希 (キム リャンヒ) さん (ご紹介：会長エレクト 藤嶋 剛史)



### 幹事報告

①直近の予定ですが、通常とは違った動きが多いので確認のため申し上げます。

- ・ 5/15 12時点鐘 サム講師による卓話、13時より食事
- ・ 5/21(日)-22(月)

会員旅行(仙台)

- ・ 5/29 夜間移動例会 米山記念奨学生歓迎会 18時点鐘、会場 ステラ・デル・アンジェロ

・ 6/3(土) インターアクト、ソニックシティホールで埼玉栄高校吹奏楽部定期演奏会となりますので、お間違えの無い様予定の確認をお願い致します。

②さいたま市長 清水勇人様より、さいたま国際芸術祭 2023 への協賛のお願いが来ております。今年度も理事会にてご承認いただきましたので、前例に基づいて協賛させていただきます。

③今月のロータリーレートは136円です。



### 寄付金贈呈

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 事務局長 前田 博之 様 (Zoomでご参加) に、ゴルフ部会 田口 修身 会員より寄付金が贈呈されました。

60周年 新たな奉仕活動へ ~すべては好奇心から始めよう~

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/





## 委員長報告・地区派遣役員報告

### ■プログラム委員会 委員長

#### 清水 恒信

5/15 (月) は、TRF のSAM 様がいらっしゃる例会で 12 時点鐘です。参加されるかたの服装については、Y シャツなどでネクタイを外してください。



### ■親睦委員会 委員長

#### 島袋 博昭

5/21 (日) -22 (月) は、会員親睦旅行で仙台に行きます。20 名ほど参加の予定です。ご案内・旅行代金の振込先はメールでお知らせします。

### ■米山記念奨学委員会 委員長 円谷 友香

5/29 (月)、ステラ・デル・アンジェロでの夜間例会で、米山記念奨学生リャンさんの歓迎会を行います。皆様のご参加、よろしくお願いたします。



### ■地区ブライダル委員会 委員長

地区ブライダルのバーベキュー婚活の

チラシをボックス投函しました。雨天でも大丈夫な場所です。お知り合いをご紹介ください。

### ■会長エレクト

次年度理事役員に委員会構成表をお配りしました。副委員長をお決めになりお知らせください。



## 誕生日祝い

山崎 一祥 (2日)、杉山 克博 (5日)、菊池 裕一 (8日)、中谷 輝彦 (17日)、柴木 健之 (18日)、小岩 淳一 (18日)、新井 清太 (21日)、石三 重則 (21日)、高橋 誠一 (28日) 各会員



## ロータリーの友解説

### ■広報委員会 委員長 風岡 淳一

#### 横組

#### P.4 ~ 5 RI 会長メッセージ

ロータリーの中で「居心地の良さと配慮」を作り出すためには、お互いの強さだけでなく、弱さも認め合うことが重要、クラブでの体験とは、皆が心地良さを感じ、共感し、お互いを支え合う場となることなのです。加えて、メンタルヘルスのための治療に対する偏見をなくし、ケアへのアクセスを拡大するような奉仕活動をするので、お互いの絆を深めていくことができるので、ゴードン RI 会長エレクトが、世界中でメンタルヘルスのシステムを



改善したいというビジョンを示したことを、うれしく感じています。メンタルヘルスの問題に取り組んでいくことは、ゴードン RI 会長エレクトの次年度のテーマ「世界に希望を生み出そう」を実践していく方法でもあります。

#### P.7 ~ 15 今月は青少年奉仕月間。

青少年交換プログラムの参加をきっかけにリーダーとなった起業家3人と、これから派遣される次世代のリーダー1人が紹介されています。

#### P.12 ~ 13 近藤修一さん

青少年交換学生に応募、派遣先はハンガリー。帰国後、進学した大学在学中にハンガリー政府の奨学金を得て、再度ハンガリーに留学したぐらいハンガリーフリークに。

#### P.14 ~ 15 右近いろはさん

2022年2月にロシア軍によるウクライナ侵攻を知り、「ポーランドに行って避難する子供たちの力になりたい」と、現地で支援活動をしている日本人を SNS で探しましたが、断念。ウクライナ人を父に持つ同級生に相談、ポーランドでウクライナを支援し日本語も話せるヘンリックさんを紹介され、受け入れてもらいました。

#### 縦組

#### P.24

埼玉西北の第 2570 地区の第 1 グループが「ウクライナへカイロを贈ろうプロジェクト」

#### P.23

長崎・佐賀の第 2740 地区が、寒い中電気が止まっている地域があるウクライナにカイロを贈るという事業を。

#### P.25

越谷 RC が、フィリピンのエレメンタリースクールに大型モニター22台を寄贈しました。

## クラブ協議会

### 次年度方針について

#### ■会長エレクト 藤嶋 剛史

#### 2023-24 年度 RI テーマ

(RI 会長/ゴードンR, マックナリー)

「世界に希望を生み出そう」  
Create Hope in the World



#### 2023-24 年度 地区活動方針

「地域に希望を、クラブに活力を生み出そう」

希望のある世界を築いた先には、明るい活力みなぎる世界があります。2770 地区が、希望に満ちて、活力あるロータリー活動により、すべてのクラブが活性化され、活力みなぎるクラブになりますように、心からお願い申し上げます。新型コロナにより停滞していたすべてのロータリー活動を、以前よりも更にパワーアップしましょう。

#### 2023-24 年度 地区運営方針

「ロータリーを理解し、楽しく活動しよう」

1. ロータリーは、常に変化しています。その変化を理解し、新しいロータリーを学ぼう。
  2. ロータリーの基本的事項を学ぼう
  3. 奉仕活動を楽しんで下さい
  4. クラブ戦略計画の策定
- 12 グループの合同奉仕活動をお願い致します

#### 2023-24 年度 地区目標

1. ポリオ根絶への支援 (財団目標と奉仕活動)
2. My Rotary 100% 登録
3. 「ロータリー賞」へ全クラブがチャレンジ
4. クラブ戦略計画 (行動計画、ビジョン) を作成する
5. 会員増強退会阻止、奉仕活動によりクラブ活性化に励む

#### 2023-24 年度 地区数値目標

1. 会員数 2400 名
2. 出席率 90% を目標にメーキャップを活用する
3. 財団寄付額 1 人あたり 年次基金 200 ドル ポリオプラス



50ドル、1クラブあたり初めてのベネファクター1名(50名上のクラブは2名)

4. 米山寄付額 1人あたり 25,000円(普通寄付:5,000・特別寄付:20,000)

### 2023-24年度 クラブ活動方針

クラブスローガン「把手共行」

～分かち合おう、共にロータリーの感動を～

皆さんの「ロータリー・モメント」は何ですか？

ロータリー・モメントとは「心に残るロータリーの体験」だといいます。初めて私にその瞬間が訪れたのは、地区米山部門へ出向した1年目でした。それから私は米山奨学記念事業が好きになり、そして、ロータリーが好きになりました。

61年目を迎える大宮西ロータリークラブは、長い歴史と伝統とともに多くのメンバーを擁するクラブへと発展しました。しかし、3年間にわたるコロナ禍により活動が停滞し、クラブの代名詞であった大きな継続事業もなくなり、徐々にメンバーの参加も減少してまいりました。そんな中、ようやく思い切り活動できる時がやってきたのだと思います。今以上に、そしてコロナ以前よりもクラブを活性化し、活力みなぎるクラブとなるべく、まずはロータリーをやって良かったと思えるような、ロータリーの感動を感じられる、そんな「奉仕の喜び」につながる事業を実施し、その体験を皆で共有することにより、メンバーの活動意欲や仲間意識を高めていきたいと思えます。

「奉仕の喜び」につながる事業、それは相手が心から喜んでくれるものであり、それが我々の喜びへつながり、そしてロータリーの楽しみとなるのではないのでしょうか。日本のロータリーの父と言われる米山梅吉氏は、人を喜ばすことが好きで、「他人が楽しむのを見ているほど幸福なことはない」と生涯を通じて語ったそうです。米山氏がよく口にした言葉に「何事も人々からして欲しいと望むことは、人々にもそのようにせよ」という聖書の言葉があります。人を喜ばせるためにはそのように、自分の身に置き換える、相手の気持ちになって考えること、そんな、他を思いやる「利他の心」が必要です。常にそれを念頭に置き、より良い奉仕の実現を目指してまいります。

また、それはクラブ運営にも重要ではないでしょうか。例会は時間厳守が鉄則ですが、そのために参加した人の気持ちや行動を犠牲にしてはなりません。そのようなことがあれば、それは出席率やクラブへの評価の低下にもつながるはずで、例会運営については、月初例会への行事集約による、ゆとりあるスケジュールの立案や、前半でのセレモニー終了、後半は完全に卓話とする時間配分など、「時間と人の心の両立」を目指します。また例会内容においては、新たな、かつ様々な問題に関する卓話を選定するとともに、全メンバーでの議論の場を設け、今後の奉仕の可能性を模索してまいります。

奉仕事業の広報活動も重要です。我々の活動が世に広く知られ、認められれば、それはさらなるクラブへの愛着やメンバーとしての誇りにつながり、やがて「知り合いにクラブ入会を勧めてみよう」という動機にもつながっていくのではないのでしょうか。今、入会されて間もないメンバー、そしてこれから入会するメンバーも多いと思います。我々ロータリアンは、親睦・交流を経てクラブへの帰属意識が生まれ、仲間と様々な活動を続ける中で、やがて奉仕への意欲が芽生えます。共に奉仕活動を経験してもらいながら、より心が深く通い合う交流ができるよう、夜間例会や移動例会、会員旅行、新入会員歓迎会など交流にも注力し、奉仕と親睦の両輪充実を持って、より楽しいロータリー活動を目指します。

把手共行とは単純に「手を取り合って共に進む」ということです。では、誰と共に進むのか？それは他者であるとも、内なる自分自身であるとも言われます。「入りて学び、出でて奉仕せよ」という言葉があります。より良い奉仕を行うためには、メンバー一人ひとりが、ロータリアンとしての自分自身を見つめ直し、さらに磨くことが必要だと思えます。奉仕の「質」を高めるために、今以上にロータリーを理解し、知識を向上する例会や研修を行ってまいります。

では、手を取り合う他者とは誰なのか。それは当然メンバーであり、地域や地区の各団体です。特に、地区米山学友会とは協働して奉仕事業を行います。若い力と柔軟

な思考による大きな協力を仰ぐとともに、奉仕体験を日本との架け橋としての成長につなげてまいります。青少年は国や世界の未来そのものであり、その健全な育成は未来を大きく左右します。本年度は児童および青少年を対象とする奉仕活動や卓話を多く行ってまいります。米山学友会をはじめ各青年関連団体と連携し、その健全育成を目指すとともに、今後の奉仕の在り方を探ります。大宮西ロータリークラブは地区、そして埼玉県の中でも最大の規模を誇るクラブです。我々が手を取り合っていないだ輪は広く、そして我々が同時に踏み出す一歩の足音は大きく鳴り響きます。そのメンバー全員が手を取り合い、協力しあい、目的に向かって進むその力は、本当に大きな力を秘めていることを今一度思い起こし、地域で、そして世界で、大きな「希望」を生み出していけるよう、一人でも多くのメンバー同士、そして地域や各団体の皆様と手を取り合い、共に歩んで行きましょう。

### 2023-24年度 クラブ運営方針

- 1 利他の心を念頭に置いたクラブ運営
- 2 奉仕の喜びと楽しみを感じられる事業の実施と感動の共有
- 3 ロータリーを理解し奉仕の質を高める例会や研修の実施
- 4 心が深く通い合いロータリーを楽しめる交流の実施
- 5 上記すべてを通じたクラブの活性化

## 米山記念奨学生 挨拶・奨学金支給

米山記念奨学委員会 委員長

円谷 友香より、2023 学年度米山記念奨学生 金亮希(キムリャンヒ)さんに奨学金支給

